



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1877回例会 2016年10月29日（土）

コンテスト発表会 / 担当 40周年記念実行委員会

前例会の記録

第1876回 2016年10月27日（木）

C. A 地区大会報告 / 担当 会長、幹事

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 石原妙生会長

本日10月27日は「テディベアズ・デイ」熊のぬいぐるみの日です。

1997年に日本テディベア協会が制定しました。

大切な人に、「あなたのことを考えている私がここにいますよ」という気持ちをテディベアを介して伝える日ということです。由来はアメリカの第26代大統領セオドア・ルーズベルト（愛称テディ）が熊狩りで瀕死の熊に出くわした時、殺すのではなく助けた事が美談となり、その事から来ているそうです。

さて、10月22・23日の高山で行われた地区大会へ沢山の方に出席をして頂きました。泊りでの2日間ご苦労様でした。

年度当初にお話した様に、地区大会への出席は会員全員を対象にしたもので、親睦旅行の様な行事になればと考えていました。会員皆様のご理解のおかげで



15名という約半数の出席を頂き参加する事が出来ました。

私から少しお話しさせてもらいますが、今年度は“わの心を文化に”のコンセプトの元行われました。オープニングではガバナーが袴（かみしも）姿で、RI会長代理は御所車に乗って登場され、随所で和を意識し、全体的にも「見せる工夫」や「凝った演出」があり、すごく良かったという印象でした。ガバナーもいっぴくなくユーモラスな話をされちょっと印象が変わりました。

又2日目の講演では「博多の歴女」と言われる講師の方が日本の歴史について話されました。その方は笑顔で声も素敵で話し方も上手、内容がどんどん聞き手に伝わって来て、ちょっと感動しました。

親睦については、高山の雰囲気のある会場で美味しい料理や酒を頂き、大変良い懇親会が持て、幹事に感謝です！ 帰りに少々ハプニングがあり忘れられない思い出になりそうです。

40周年記念事業のお願いです。10月29日はいよいよコンテストの発表会です。

委員長や部会長を始め役員の皆様で準備をして頂きま

した。たくさんの会員が参加して、コンテストの発表会を成功させましょう。よろしくお祈いします。

最後になりますが、本日は会員の話があります。伊佐地金嗣先輩、よろしくお祈いします。

*会員の話の時間

伊佐地金嗣会員

私は三期、下条会長の時に入会し、ロータリーは33年になります。入会してよかってことはと聞かれますと



良い事ばかりでした。奉仕と言う言葉の元に異業種の方々に会え、いろんな意見、話が聞け人生に於いて、大変プラスになりました。

私は二十才より神主の綱領の中に「世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世つくり固め成すこと」がロータリーの四つのテストに合致していることが、今日まで続けてこれた原因だと思ひます。継続は力なりと言ひますが、これからも生有る限り、よろしくお祈いします。

*C. A地区大会報告

長谷川修会員

10月22,23日高山で開催の地区大会へ出席いたしました。22日当日の様様を報告いたします。



当日は、バス乗車の方とマイカーの方とで高山市民文化会館ホールに集合しました。

本会議は、昼の1時から劔田ガバナーの点鐘に始まり、歓迎の言葉を大会実行委員長 島良明氏より頂き、来賓、特別招待者、特別出席者のご紹介後、劔田ガバナーの挨拶へと進んでいきました。

今年度はロータリー財団創立100周年であり誠にめでたく、意義ある感動的な大会になることを願ひますとの挨拶から その中でご自身の父親もロータリアンだったそうで、ロータリーの教育を受けたことは無いけれども、父親のロータリーに対する真摯な姿勢に影響を受け自身もロータリアンとして活躍しておられるようで、また、何事にも一生懸命にやり、相手に思いやりの心があるから一生懸命になれると申されておりました。

真にウィットに富んだ方で会場にも笑いをふんだんに取り、柔和な雰囲気と進んでいきました。

次の地区代表幹事 伊藤正隆氏より

地区現況報告があり、8月末現在の会員数は三重県

12グループ 33クラブ 会員数 1365名(内 女性会員 87名) 岐阜県

12グループ 44クラブ 会員数 1758名(内 女性会員 54名) 総計 77クラブ 3075名(内 女性会員 141名)

7・8月 増員数 45名達成。

日本全国 2,265クラブ 会員数 89,454名

世界全体 35,533クラブ 会員数 1,228,956名

との報告がありました。

会計報告の後、参加クラブの紹介があり、今回“わの心を文化に”とのコンセプトからか、和気藹々と親睦したいとの思いが各参加グループにも明るく伝わっていたようで、グループの紹介から始まり、各グループ10分程度でしたが、趣向を凝らした、音楽あり、振り付けありのユーモアたっぷりで各クラブの地域の特色などが分かりやすく楽しいクラブ紹介でした。

その後、各種表彰へと進み、次によねやま親善大使、国際青少年交換学生、国際青少年派遣交換学生、ローターアクト・インターアクト代表、財団学友会代表のスピーチがあり、みなさんがそれぞれ体験談及び現況報告をされましたが、貴重な経験を基に成長し、社会奉仕に貢献できるようになったのはロータリーのおかげであります。と、皆さんが感謝の気持ちを表しておりました。最後に、国際ロータリー第2680地区の久野薫氏による基調講演があり、閉会・点鐘となりました。閉会後は当クラブは懇親会へと場所を移動し、みなさんとそこで又、和気藹々と歓談でき有意義な時間を過ごせました。

大蔵太会員

2日目の報告させていただきます。劔田ガバナーの点鐘に続き国家斉唱、物故者の紹介、ホストクラブ会長挨拶、来賓の祝辞、参加クラブ紹介、ガバナー挨拶、RI会長代理挨拶と続きました。そのあと大会特別委員会報告、大会決議採択へと進み、ここまで約1時間半、その後約15分の休憩がありました。休憩の後始まった記念講演の講師は、元日本航空の客室乗務員で、現在は福岡市に在住しながら、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に発信するために、全国各地で講演に取り

組んでいる白駒妃登美さんでした。

白駒氏が歴史への関心を持ったのは、大学3年の時にオーストラリアでホームステイをした際、ステイ先の人から、2000年に及ぶ日本の歴史の古さを称えられたにもかかわらず、いかに自分が日本の建国の歴史を知らないかを思い知らされたことがきっかけでした。帰国して日本の歴史を調べ始めたこと、そして神武天皇が即位してから、日本が今年で建国2676年、2位のデンマークの1100年と比較しても、世界でダントツに歴史の古い国であることが紹介されました。

また日本人の特質である、恩を感じることでできる国民性が、いかに世界で信頼され、尊敬されているか。それは日本人の、道徳心の高さによるものであるとされます。戦後ウズベキスタンに強制送還された日本兵が強制労働によって造られたオペラハウス。大地震の時に周りの建物が倒壊したにもかかわらず、そのオペラハウスだけは無事でありました。奴隷として働かされている、劣悪な環境の中で従事した建設作業。そんな作業においても誠心誠意働いた日本人の誠実さ、そして技術力の高さ、そういう日本人伝説は今でも台湾、イラクを始め世界各地に残っているそうです。

そしてもう一つの話、高山で幼少の頃を過ごしたとされる、山岡鉄舟の話です。世界史的に見ても非常に稀な無血クーデターであった明治維新。その最大のクライマックスである、江戸城開城の立役者は西郷隆盛と勝海舟と言われていますが、白駒氏は徳川家の家臣である山岡鉄舟こそが最大の立役者だといいます。西郷のいる駿府へ単身乗り込もうと、命を捨てて臨んだ鉄舟。数々の迫害に遭いながらも、最後は清水の次郎長に守られながら西郷の元にたどり着いたとされます。そして徳川家臣ではあるが、身分の低い鉄舟を追い返すことができたにもかかわらず、あえて面会を許した西郷の度量。白駒氏は鉄舟こそ「ラストサムライ」とあると言います。いかにも浪花節な話でしたが、私もこういう話は嫌いではありませんので、大変興味深く聞きました。

日本人の求めた道というのは、得ることが目的ではなく、与えること、私を捨て公の為に尽くすということ。そして公に生きるために必要なことは、恥を知ること、孟子の言葉である惻隱の情、または利他の心、

そしてその利他の心を実践している人達こそ、皆さん方ロータリアンであると大変うまい話して、締めくくられました。

小川糧司会員

高山市民会館で77クラブで登録1400人ぐらいで午後1時から開催されました。1日だけの参加者もずいぶんあったようで会場の席は1400位のところ初日は6割ぐらい2日目は9割ぐらいの参加者でした。初日が18時まで2日目は9時から12時半までその後飛驒ホテルに移動して大昼食会で終了しました。ここ10年ぐらい毎年参加をしていますが今年の感想はさすが劔田ガバナーだなーという感想です。スケジュールにも以前とは少し違って、進歩があり、ひきつけられるところがありました。

参加グループ報告は2回翌日にもあり初日は各ガバナー補佐が各自好きな音楽に乗って、それぞれに衣装もガバナーの依頼で地域色・個性を出して分区内のクラブ紹介をされました。伊賀は忍者の衣装で、あるクラブは和服に袴で落語調で語り、またジェームズボンドの音楽に合わせ、映画の「当局は一切関知しない」とボンド調の語りなどなかなか面白い企画でした。初日はクラブ名と特色を報告。2日目は参加者人数の報告がこれもガバナー補佐からありました。もっとも意外だったのはこの後に地区役員、各クラブ会長、どこのクラブの会員かわかりませんが女性会員、地区の受け入れ交換学生の皆さんが数名ずつでAKB48の恋するフォーチュンクッキーの音楽に合わせて踊る姿が放映されました。約5分若い人がやれば格好いいのでしょうが八十近いおじいさん達がやったので会場がオオーと大変盛り上がりました。

2日目はロータリアンの最高齢現役メンバー二人に特別表彰がありました。一人は三重県の90歳代の人と郡上の大畑さん97歳の二人が受けられました。大畑さんは60歳で入会をして現在37年目だそうです。お礼の挨拶では例会が楽しくて仕方がない、みんなに会うのが健康の秘訣であるといわれ、約5分のスピーチを詰まることなく、はっきりと話されました。10代で近衛兵になり、その後満州に出兵して終戦間際には40人ぐらいでガダルカナルへ転戦し、最後は後方支援も受



けられず、食べるものも何もなくなり、草木はもとよりネズミ、バッタ、蛇、カエル何でも捕まえて食べたといわれました。その間仲間は動けなくなるとそこに放置され、穴の中で自決したのもあった。その間に7回銃弾を体を受けたけど、奇跡的に戻れ、今日があると話されました。話が終わりましたら会場からこの大会最高の拍手がありました。私も感動しました。

今回の大会の記念講演も感動の講演でした。講師は「博多の歴女」白駒妃登美氏 63歳の女性でした。あまりなじみがありませんが、歴史にとっても詳しく幾つかの歴史に関する著書を出しておられます。テーマは「日本人のすごさ」でした。

数千年の世界の歴史から見ると、日本は侵略に幾度も耐えてきた。中でも一番危険が迫ったのは幕末である。なぜ耐えれたかは徳川幕府を無血開城することが出来たから。内戦で戦っていたら国内の戦力は薄れ、外国に攻め落とされ植民地化されたでしょう。

無血開城をなしえたのは幕末の志士 山岡鉄舟が西郷隆盛と幕府軍の勝海舟を命がけて引き合わせて実現したのです。それによって日本は現在に至るといふ講演でした。話しぶりがとうとうとあふれるように話され最後はすごい拍手でした。

*コンテスト発表会打合せ

資料に基づき打合せ

*出席委員会

会員数31名、本日の出席24名です。

*ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

地区大会にご参加の方、ご苦労様でした。本日の発表、長谷川さん、大藪さん、小川さんよろしくお願ひします。

・加納淳至会員

初のレポーターで発表をがんばります。

・小澤重忠会員

明後日にコンテスト発表会をひかえ、良き打合せをしましょう。

24名のご投函ありがとうございました。

*10月IGM報告 レポーター 加納淳至会員

カウンセラー：波多野好文会員、R情報委員：喜久生明男会員、世話役：藤村伸隆会員、レポーター：加納

淳至会員、古田育則会員、田中静夫会員

場所は味の孫六さんで開かれました。会員増強について話し合われました。具体的には退会された方のご子息などにお声がけして例会に参加していただき知っていただく場を設けたらどうかという意見がでました。私なりに思ったことは、ロータリーというものをもっと色んな方に知ってもらう機会を多く持てたらいいのではないかと感じました。私も話を聞くまでロータリーがどういったものなのかというのを知りませんでしたので、そういった場があれば出席してみたいとか行動してみたいとかそういった方が出てくるのではないかと思います。

*幹事報告

例会終了後に指名委員会がありますので関係者の方は出席をお願いします。

11月のロータリーレートは1ドル102円となっております。

新入会員の伊佐地司会員の入会式は11月末もしくは12月はじめに行います。

*メイクアップ報告

10/14 10月IGM

波多野好文会員、喜久生明男会員、藤村伸隆会員、古田育則会員、加納淳至会員、田中静夫会員

10/22,23 地区大会

伊佐地金嗣会員、石原妙生会員、川上勉会員、川村紳一会員、佐藤忍会員、波多野篤志会員、波多野好文会員、山田文夫会員、山本義樹会員、長谷川修会員、吉田和也会員、西田健一会員、小川糧司会員、古田博文会員、大藪太会員

<次例会の案内>

第1878回 2016年11月6日(日)

森林整備例会(里山)

担当：環境保全・IAC委員会